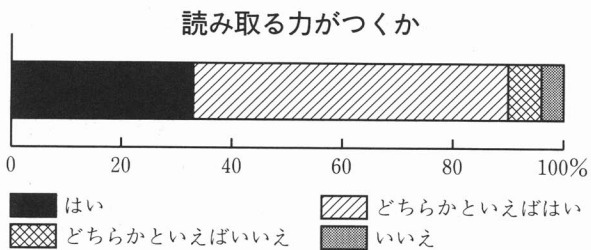
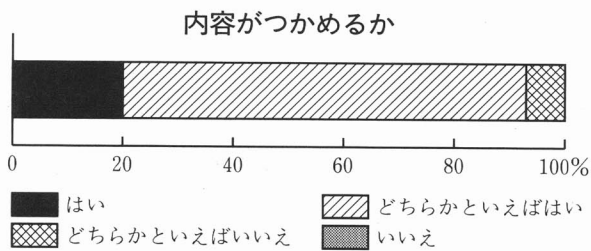


① 三つの要素の表現

児童には、次のように表現を変えて示す。

- A 本文に書いてあることば
- B 気づいたこと  
～ということは…  
～と書いてあるので…
- C なぜ、そう思ったか

④ 「読み取る時の考え方」を使った学習に対する意識



「読み取る時の考え方」を使っていけば、「内容がつかめる」、「読み取る力がつく」と思った生徒が多かった。

《検証授業 2》

1 検証授業 2 の構想

- (1) 授業者 郡山市立三代小学校教諭  
吉田知裕先生
- (2) 対象児童 同 5年 1組 9名
- (3) 単元名 作品のおもしろさを
- (4) 教材名 「わらぐつの中の神様」 杉みき子  
(光村図書, 5年, 下)

(5) 研究仮説の具体的な手だて

検証授業 1 の実践の結果から、明らかにされた課題をふまえ、また、小学校 5 年の発達段階を考慮して、次のような具体的な手だてを立てた。

② ワークシートの使用

三つの要素をおさえながら、読み取りをすることができるように、次のようなワークシートを作成する。本文のことばを抜き出す時間を省き、本文とつなげて考えることを容易にするため、本文を載せたワークシートにする。このワークシートは、一人調べで読み取りをしたり、話し合いで発言したりするときに使用する。なお、このワークシートは、学習しやすくするために、裏面を貼り合わせて本の形にする。  
(資料 5, 9 ページ参照)

③ ワークシートに書き込んだ例の提示

検証授業 1 で行ったと同じように、以前に学習した本教材と同じ文種の教材「ごんきつね」(新美南吉, 光村図書, 4年, 下) を取り上げ、以下のような、ワークシートに書き込んだ例を、単元導入時に提示して説明し、練習する。(資料 4, 次ページ参照)

④ 「手がかりとなることばのとらえ方」(C)の「なぜ、そう思ったのか」を考える観点の提示

検証授業 1 の結果から、三つの要素をおさえたい読み取りをしていく上で、最も難しい要素は、Cの「なぜ、そういえるのか」の部分であった。このCの部分の説明することの難しさの原因は、Cを説明するときに、どのように考えればよいか分からないことと考えられる。

そこで、次のような、観点を例として示す。

- ① ことばの意味から
- ② ことばのイメージ・感じから
- ③ そのことばの使い方から  
(どんなとき使うか)